



ICANN

# 国際化ドメイン名委員会

第6回ICANN報告会

2003年4月30日

リオデジャネイロICANN会議での報告資料(翻訳)

加藤幹之

# 目次

- ICANN 国際化ドメイン名委員会の活動計画
- ICANN 国際化ドメイン名委員会の会員
- 国際化ドメイン名レジストリ実行委員会
- 二つの技術的な基本アプローチ
- 国際化ドメイン名の標準
- その他の課題（上海の前会議で提示された内容）
- 漢字の課題 – さまざまな漢字の種類 –
- IDNA標準のインプリメンテーション
- ICANN リオデジャネイロ会議での課題
- IDN承認の基準に関するICANNスタッフペーパー

# ICANN 国際化ドメイン名委員会の活動

- 2001 3月- ICANN国際化ドメイン名委員会WG創設(メルボルン)
- 2001 6月- ICANN国際化ドメイン名委員会WG現状報告(ストックホルム)
- 2001 9月- ID ICANN国際化ドメイン委員会WG最終報告(モンテビデオ)
- 2001 9月- 国際化ドメイン名委員会創設(モンテビデオ)
- 2002 6月- 国際化ドメイン名委員会 最終手続報告(ブカレスト)
- 2002 6月- 同委員会の延長(次回、上海開催まで)
- 2002 10月- 同委員会の更なる延長(次回、アムステルダム開催まで)
- 2002 12月- 同委員会の更なる延長(2004年の年会議まで)(アムステルダム)
- 2002 12月- ICANN国際化ドメイン名レジストリ実行委員会創設(アムステルダム)

# ICANN 国際化ドメイン名委員会

## 会 員

- Vincent Wen-Sung CHEN  
文生  
(TWNIC)
- Mouhamet DIOP  
(ICANN Director)
- Patrik FÄLTSTRÖM  
(IETF/IESG)
- Qiheng HU  
胡 恒  
(Internet Society of China)
- Masanobu KATOH  
幹之 (かとう まさのぶ)  
(Committee Chair, ICANN Director)
- John KLENSIN  
(Former IAB Chair)
- Sang-Hyon KYONG  
(景商鉉)  
(ICANN Director)
- Stuart LYNN  
(ICANN President)
- Elisabeth PORTENEUVE El bieta  
PORTENEUVE (ICANN Names  
Council)
- Mohd Sharil TARMIZI  
(GAC Chair)

# 国際化ドメイン名レジストリ実行委員会

ICANN 役員会議にて実行課題を提示

委員会の会員名:

Marc Blanchet (technical expert)

Edmon Chung (Neteka)

Yann Courtel (.ca)

Neil Edwards (.com, .net)

Patrik Faltstrom (technical expert)

Hiro Hotta (.jp)

Kenny Huang (.tw)

Cary Karp (.museum)

Masanobu Katoh (chair)

Yang-Woo Ko (.kr)

Tom McGarry (.biz)

Andrew McLaughlin (policy expert)

Ram Mohan (.org, .info)

Hualin Qian (.cn)

**Geir Rasmussen (.name)**

James Seng (technical expert)

# 二つの技術的な基本アプローチ

## サーバ側のアプローチ

- ・ローカルエンコード (BG, BIG5, DJIS) またはユニコードトランスフォーメーションフォーマット (UTF-8) を直接ネット上に送信
- ・サーバの再構成やDNSの再構築が必要

## クライアント側のアプローチ

- ・ユーザ側のコンピュータ上で、ローカルエンコーディングまたはユニコードを、ASCII互換エンコーディング(ACE)に変換
- IETF (IESG) にて本アプローチを承認 (Oct. 2002)

## 国際化ドメイン名の標準 (IDNA)

以下の三つの書面を、2003年のRFCにて公開

- P. Fältström, P. Hoffman and A. Costello, "Internationalizing Domain Names in Applications (IDNA)", [RFC 3490](#)
- P. Hoffman and M. Blanchet, "Nameprep: A Stringprep Profile for Internationalized Domain Names", [RFC 3491](#)
- A. Costello, "Punycode: A Bootstring encoding of Unicode for IDNA," [RFC 3492](#)

## その他の課題(上海会議で提示された内容)

### ☞ 認可されるコード

- e.g. 中国 / 日本 / 韓国(CJK)の問題  
登録と管理方法のガイドライン

### ☞ 第二レベルIDNのインプリメンテーション

- ASCII TLDsの必要性和その採用を要検討

### ☞ non-ASCII TLDs をいつ、どのように採用すべきか 要 検討

### ☞ ユーザインタフェースの問題

### ☞ UDRP手続きのレビュー



## 漢字の課題 - さまざまな漢字の種類 -

- 国や地域により、同じ意味でも異なった漢字を使用するため、そのコードも異なる（「国際」の例）
- 中国語
  - 伝統的中国語: 國際 (570B 969B)
  - 簡略化された中国語: 国 (56FD 9645)
- 日本語
  - 現在の日本語: 国際 (56FD 969B)
  - 以下の表示もあり: 囯際 (5700 969B)
- その他
  - 國 (570B 9645)

## JETによる漢字についての標準化活動

- 登録における管理ガイドラインを用意し、中国語、日本語、ハングル語の文字を抽出
- 漢字の同義マッピングのための、包括的なフレームワーク、登録者の要望(ドメイン名やその他のバリエーション)を含む、国際化ドメイン名の包括的コンセプト作り

## 漢字以外では...

- 多くの国の言語は、ごく簡易で直接表現が可能で、**同義語テーブルが存在する**

E.g. ドイツ語、その他の欧州言語

- 一部の欧州言語では、多少複雑性あり

E.g. ギリシア語またはキリル字(昔のスラブ民族使用)

- 特定文字登録のための文字群設定が急務**  
**関連する地域の文字における同義 / 関連ルールの**  
**信頼性の高いテーブル表開発が重要**

## IDNA標準のインプリメンテーション

### リスク

- ユーザの混乱が増大
- サイバースクワッシングの増加

### リスク回避

- 精度の高い登録レベル方針の採用
- レジストリ間での技術的インプリメンテーションの整合性の確保

# ICANN リオデジャネイロ会議での課題

- ☞ **アップデート:** IDNA プロトコルの状況
- ☞ **実行課題:**
  - IDN承認の基準に関するICANNスタッフペーパー
  - ベリサインのDNS ネームサーバの変更
  - 多言語テーブルの創設
- ☞ **更なる政策課題:**
  - ベリサインのWebナビゲーション – DNSの役割

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

- ✔ タイトル:  
国際化ドメイン名登録における  
ICANN認証の標準化とその契約
- ✔ 主な課題のサマリを提示



# IDN 認の基準に関する ICANN スタッフペーパー

- ICANN は、限られているレジストリレベルのインプレメンテーションをあまり細かく管理することは、厄介でしゃばりすぎたアプローチとなるのではないか。
- レジストリのオペレータ(gTLDs .com, .net, .org., .biz, .name, .pro, .aero, .coop, .museum)の契約上、ICANN には、IDNA に合致した国際化ドメイン名登録を承認する、明確な権限が与えられている。

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## どの標準を適用するのか？

- 適用される技術的標準に従うことが必須
- 言語毎の適切な登録方針を設け、関係する コミュニティ、専門家やレジストリが約束することが必要



# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## 標準化のゴール

- ICANNの責任を遂行するため、標準化を遵守し、全世界での互換性を保証
- 必要に応じ、特殊言語ルールをレジストリがインプリメントできる予測値を設定
- 今後、詳細の管理なしに、適切な方針をレジストリに設定させる(ポリシーの開発を認める)

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## IDNA登録承認のためのICANNの基準

- レジストリがIDNAに合致したドメイン名登録を、  
始条件として合意する必要がある  
つの必須要件 開  
四
- 必須ではない、レジストリへの二つの強い要望

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## 承認における必須要件

- 適用される技術的標準に厳格に従う
- 許容されるコードを特定するにあたり、内包的アプローチを取ること
- 登録されたドメイン名を一つまたは複数の言語と結合すること: 言語特有のルール、異字体(同義語)テーブルが有効な場合にのみ登録
- 登録方針における IDN 実行委員会との協調

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## 承認のための要望事項

- 文字のドメインラベルを一言語のみに限定
- 国際化ドメイン名登録のため、全ての言語で対応可能になるような顧客サービス能力の向上

# IDN承認の基準に関する ICANNスタッフペーパー

## 標準を適用するまでの手続き

- ICANNからのフィードバック
- レジストリが四つの必須要件に合意するまでの表明を、ICANNに提出
- ICANNは、IDNAに合致したIDN登録の受け入れの開始を、書面で承認

# IDN 承認の標準化に関する ICANN スタッフペーパー

## アプローチの基本サマリ

- 最小限の不可欠な条件を設定
- 現状の登録方法から抜け出し、IDNのインプリメンテーションのための最善方法をローカル言語コミュニティ、専門家、レジストリと協調しながら見つけ出す

# IDN 承認の標準化に関する ICANN スタッフペーパー

## 結論 / 推薦事項

- 今後のIDNのインプリメンテーションタスクにおいて、全てのレジストリに対する、IDNAを実行する際の共通する懸念事項
  - ローカルの専門家や関係するレジストリと相談しながら、異字体(同義語)テーブルを開発すること等、IDNAの実行にあたって、全てのレジストリ共通の問題を解決すること
- 公式非公式に集まる専門家やレジストリ( gTLDs やccTLDs)の両方により、IDNを主要な言語において採用できるようにするため、言語毎のルール設定開発を 並行して進める

Thank You Very Much